

## ■CLIP STUDIOでの使用方法

次に、デジタルトーン素材を以下の場所へコピー & ペーストをします。

■Windowsは、2021年6月24日以前からCLIP STUDIOを使用している方は、

C:\Documents\CELSYS\CLIPStudioCommon\Material

2021年6月24日以降に新しくCLIP STUDIOを使用開始した方は、

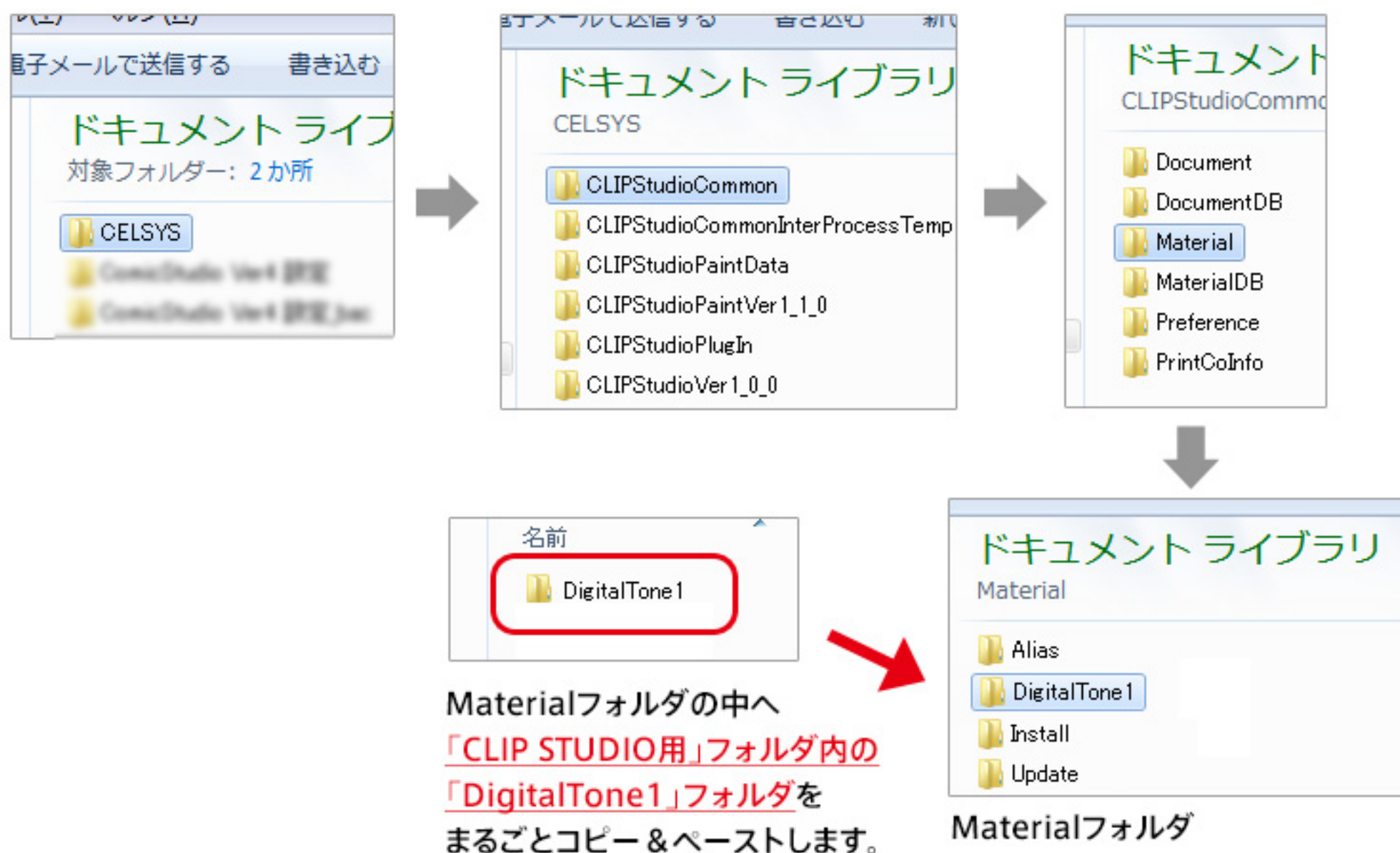
C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Roaming\CELSYSUserData\CELSYS\CLIPStudioCommon\Material

※「C:」はCLIP STUDIOをインストールしたハードディスクにより変わります。素材の保存場所を指定している場合は指定場所へペーストします。

■MacOSは、書類内のCELSYS\CLIPStudioCommon\Material

このMaterialフォルダの中に、デジタルトーン素材の「CLIP STUDIO用」フォルダ内にある

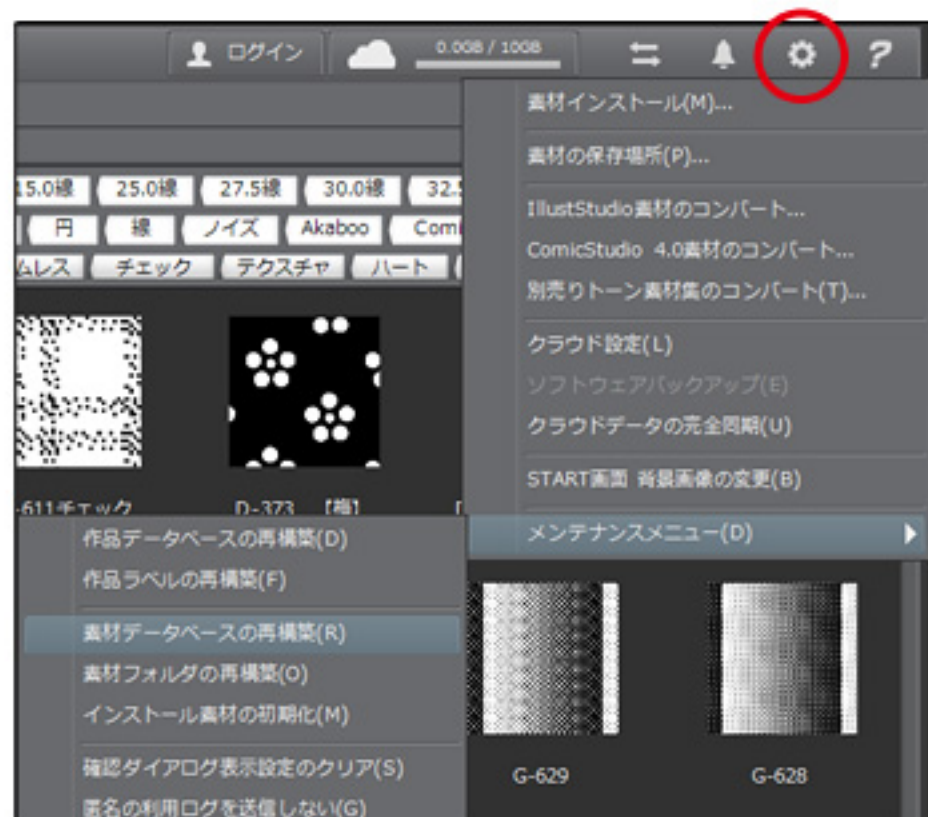
「DigitalTone1」をフォルダごとコピー & ペーストしてください。



CLIP STUDIOの起動後、最初に表示される画面の素材管理を選択します。画面右上にある設定アイコン (?マークの隣りの歯車アイコン) をクリックし、メンテナンスメニューから「素材データベースの再構築」と「素材フォルダの再構築」をそれぞれ選択して実行します。この再構築により画面上の素材とフォルダの情報が最新の情報に更新されます。

素材一覧の単色パターンフォルダ内にDIGITALTONE CPが表示されましたら無事インストール完了です。

素材の整頓は、CLIP STUDIO PAINT[素材]パレットのメニューの整列方法 > フォルダタグを選択すると番号順に整頓されます。



## ■ComicStudio/IllustStudioでの使用方法

「ComicStudio\_IllustStudio用」フォルダの中にあるファイルを使用します。

素材ウィンドウの上部メニューから「外部フォルダを参照」を選択し、任意の場所からフォルダを読み込むことも可能ですが、ここではソフト付属の他のトーンと同様に使えるようにする方法を説明します。

### ■IllustStudio 1.0の場合の例

フォルダの「ComicStudio\_IllustStudio用」内にある「DigitalTone」フォルダを以下の場所にコピー & ペーストします。

C:\Program Files\CELSYS\IllustStudio 1.0\Settings\Tone

※「C:」はIllustStudioをインストールしたハードディスクにより変わります。

このToneフォルダ内に「DigitalTone」フォルダごと入れてください。

インストール後、IllustStudioの素材ウィンドウのパターントーン>デフォルト内にDigitalToneが追加されています。(IllustStudioでは、1200dpiは使えないため、1200dpiのフォルダは削除しても問題ありません)

### ■ComicStudio4.0 EXの場合の例

フォルダの「ComicStudio\_IllustStudio用」内にある「DigitalTone」フォルダを以下の場所にコピー & ペーストします。

C:\Program Files\CELSYS\ComicStudio4 EX\Settings\Tone

※「C:」はComicStudioをインストールしたハードディスクにより変わります。

このToneフォルダ内に「DigitalTone」フォルダごと入れてください。

インストール後、ComicStudioの素材ウィンドウのBasicToneフォルダの下にDigitalToneが追加されます。

※Windows7の場合は、Program Files(x86)にCELSYSのフォルダが入っています。

※管理者権限がなくProgram Files内に保存できない場合は、マイピクチャのフォルダに入れることで、素材ウィンドウの外部参照フォルダの中から使用できます。

また、素材ウィンドウの上部メニューから「外部フォルダを参照」を選択し、任意の場所からフォルダを読み込むことも可能です。

※アミ点が含まれる素材は必ず原寸で使用して下さい。拡大・縮小するとモアレが発生します。